

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

2018 年 10-12 月期の実質 GDP 成長率は前年比▲6.2%と、7-9 月期（同▲3.7%）よりも更に大きな落ち込みとなった（第 1 図）。個人消費の寄与度が同▲6.7%ポイント（7-9 月期は同▲4.0%ポイント）、総固定資本形成の寄与度が同▲5.5%ポイント（7-9 月期は同▲2.6%ポイント）といずれもマイナス幅が大きく拡大したことが要因。純輸出は同+10.3%ポイントと唯一プラスに寄与したが、これは内需低迷を受けて輸入が減少し同+8.2%ポイントのプラス寄与となったことによる。この結果、2018 年通年の実質 GDP 成長率は同▲2.5%と前年の同+2.9%からマイナスに転じた。

他の経済指標をみても、経済の低迷ぶりが各所に窺われる。鉱工業活動指数は 2018 年通年で前年比▲4.7%と前年の同+1.7%からマイナスの伸びに転じ、建設活動指数の伸びも 2018 年通年で同+1.9%と前年の同+12.6%から大きく低下した。月次ベースの動きを見ても、直近 1 月はそれぞれ同▲10.8%、同▲15.7%と、大幅なマイナスの伸びとなっている。消費者信頼感指数も 2018 年通年では 37.7 ポイント、足元の 2 月で 36.0 ポイントと低位にある。

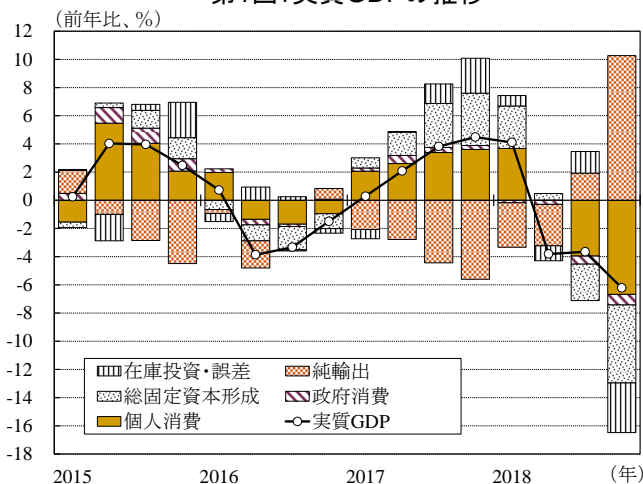
今後、マクリ政権は IMF から融資枠を取り付けるために合意した財政・金融引き締め政策などの実行や、10 月から 11 月にかけて実施される大統領選挙を睨んでの幅広い政策対応をどのようにバランスよく進めていくか等、その手腕が問われることとなる。

2. 物価・雇用

物価：消費者物価上昇率は 2018 年 12 月に前月比+2.6%まで低下したが（前年比では+47.6%）、その後は 1 月に同+2.9%、2 月に同+3.8%と再加速している。

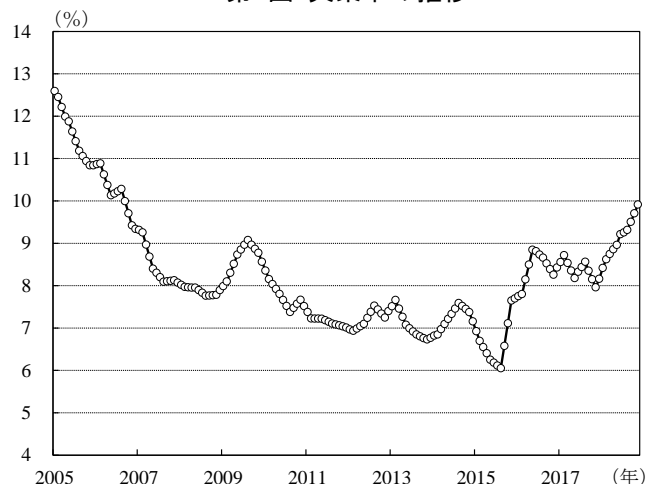
失業率：失業率は、2018 年 11 月に 9.9%と、2006 年 9 月以来の高水準となった（第 2 図）。

第1図：実質GDPの推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

第2図：失業率の推移

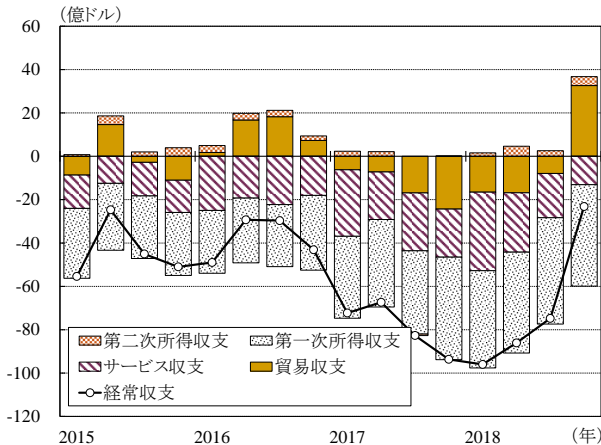


(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. 経常収支、外貨準備高

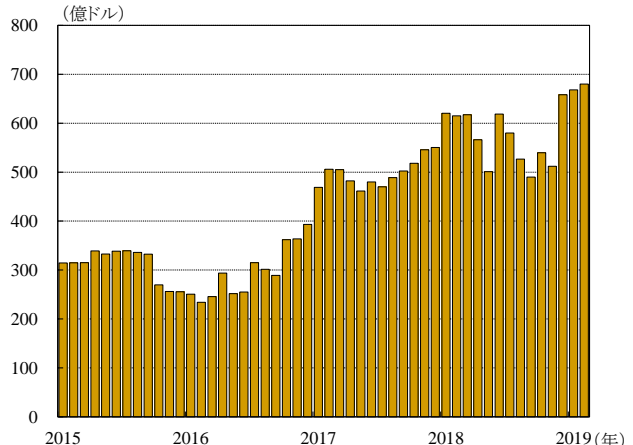
2018年10-12月期の経常収支は23億ドルの赤字と、7-9月期の75億ドルの赤字から赤字幅が大きく縮小した（第3図）。輸入の減少により、貿易収支が32億ドルの黒字と、7-9月期の8億ドルの赤字から黒字に転化したことが主因。外貨準備高は、2018年9月に490億ドルまで減少したが、IMFがアルゼンチンに対して設定した期間3年、総額563億ドルの融資枠から10月に56億ドル、12月に76億ドルの資金を引き出したことに加え、12月に中国と90億ドル規模の通貨スワップ協定を締結したことで2019年2月には680億ドルまで戻した（第4図）。

第3図：経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

第4図：外貨準備高の推移



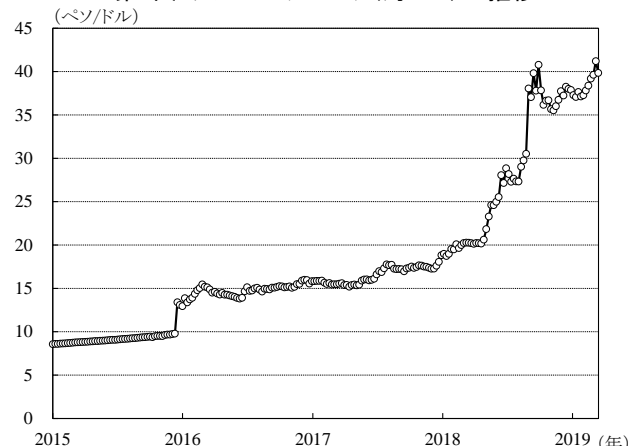
(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

4. 金融市場

為替：ペソ下落への対策の一つとして、中央銀行は3月初めに7日物中央銀行債（LELIQ債）の金利引き上げを実施したが、ペソ安傾向は止まらず、3月27日には過去最安値の1ドル43.84ペソを記録した。以降も同43ペソ付近で推移している（第5図）。

株価：年明けにFRBパウエル議長が利上げ路線を柔軟に見直す考えがあることを示唆したことから、新興国市場への資金回帰が進み、メルバル指数は2月に過去最高値の37,685.96ポイントを記録した。その後、アルゼンチン経済の先行き不安感の増大から下落に転じ、現在は33,000ポイント付近で推移している（第6図）。

第5図：アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



(資料)Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

第6図：株価(メルバル指数)の推移



(資料)Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	2.7%	▲1.8%	2.9%	▲2.5%
鉱工業活動指数(前年比)	0.1%	▲4.5%	1.7%	▲4.7%
建設活動指数(前年比)	-	▲12.4%	12.6%	1.9%
自動車生産台数(千台)	527	473	472	467
自動車販売台数(千台)	587	721	884	682
失業率	6.7%	8.4%	8.4%	-
消費者信頼感指数	54.6	45.2	45.6	37.7
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	-	-	24.8%	47.6%
(年平均)	27.7%	40.7%	22.8%	14.5%
輸出(FOB)(億ドル)	568	577	584	616
(前年比)	▲17.0%	1.7%	1.2%	5.1%
輸入(CIF)(億ドル)	598	556	669	654
(前年比)	▲8.4%	▲6.9%	20.3%	▲2.2%
貿易収支(億ドル)	▲30	21	▲85	▲38
対外準備(億ドル)(年末)	256	393	551	658
ベースマネー(億ペソ)(年末)	6,239	8,217	10,011	14,090
対民間部門貸出量(億ペソ)(年末月)	8,583	11,246	11,477	11,646
(前年比)	35.6%	31.0%	2.1%	1.5%
経常収支(億ドル)	▲176	▲147	▲308	▲280
株価指数(メルバル指数)(年末)	11,675	16,918	30,066	30,293
対米ドル為替相場(年末)	12.9450	15.8250	18.8250	37.6600

2. 月次

	18年7月	8月	9月	10月	11月	12月	19年1月	2月	3月
実質GDP成長率(前年比)	┌	▲3.7%	┐	┌	▲6.2%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	▲5.7%	▲5.6%	▲11.5%	▲6.8%	▲13.3%	▲14.7%	▲10.8%	-	-
建設活動指数(前年比)	0.7%	0.0%	▲3.8%	▲6.4%	▲15.9%	▲20.6%	▲15.7%	-	-
自動車生産台数(千台)	41	49	37	39	37	20	15	34	-
自動車販売台数(千台)	47	52	43	37	33	48	30	30	-
失業率	9.3%	9.3%	9.5%	9.7%	9.9%	-	-	-	-
消費者信頼感指数	36.3	36.3	33.7	32.6	32.1	36.0	33.1	36.0	-
消費者物価上昇率(前月比) INDEC	3.1%	3.9%	6.5%	5.4%	3.2%	2.6%	2.9%	3.8%	-
輸出(FOB)(億ドル)	54	52	50	54	53	53	46	45	-
(前年比)	2.1%	▲1.6%	▲4.8%	1.4%	14.5%	15.4%	▲4.7%	3.7%	-
輸入(CIF)(億ドル)	62	63	47	51	44	39	42	40	-
(前年比)	2.3%	▲0.1%	▲21.2%	▲18.2%	▲29.2%	▲27.1%	▲26.5%	▲22.9%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	▲8	▲11	3	3	10	14	4	5	-
対外準備(億ドル)	580	527	490	540	512	658	668	680	-
ベースマネー(億ペソ)	10,668	12,083	12,497	11,551	12,389	14,090	13,528	14,031	-
対民間部門貸出量(億ペソ)	21,206	23,274	23,831	22,828	22,828	23,255	23,104	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲76	┐	┌	▲23	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	29,287	29,294	33,462	29,491	31,483	30,293	36,327	34,486	33,466
対米ドル為替相場(月末)	27.3700	38.0500	40.7750	36.1500	37.7355	37.6600	37.0250	39.0250	43.4090

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 石丸 康宏 yasuihiro_ishimaru@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。